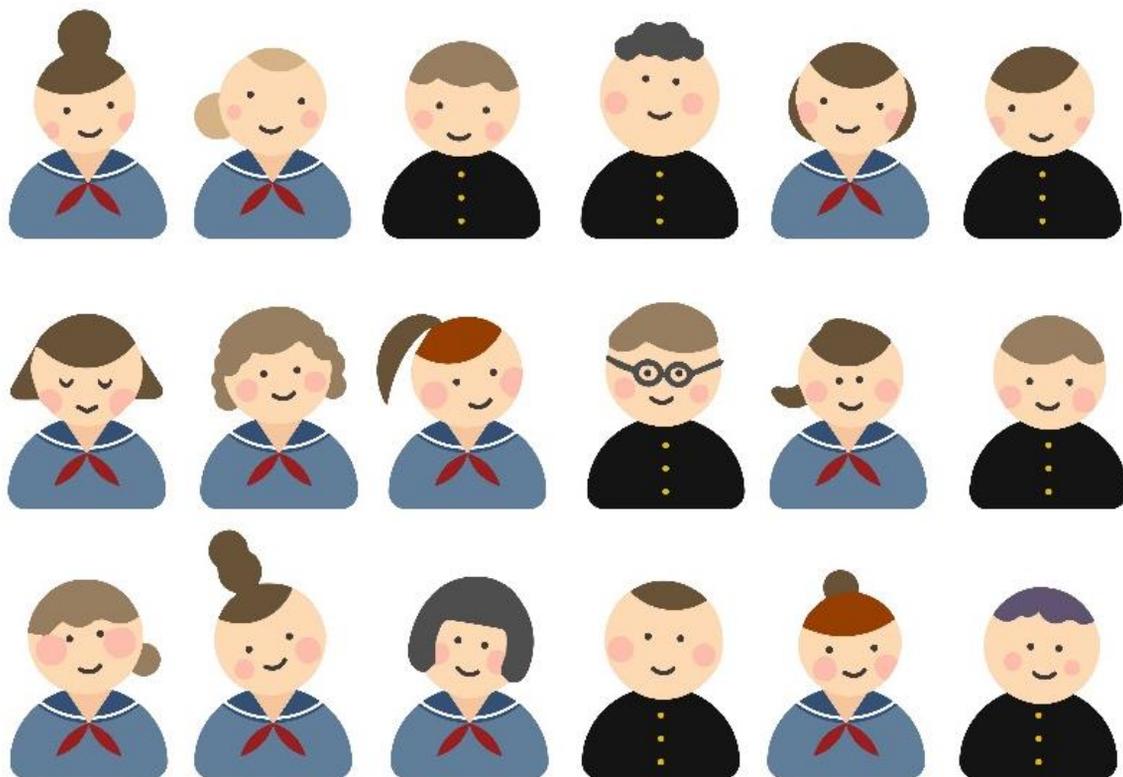


家庭で学力を育てる 9つのポイント

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果から

さあ、リーフレットを開いてみましょう！



STEP 1

まずは確認してみましょう！

▼未来を生きる子供たちに必要な学力とは！？

社会の在り方が劇的に変わり、先行き不透明な予測困難な時代の中で、学校教育や子どもたちに育むべき力も変化しています。

これまでの社会

工業化社会 大量生産・大量消費
巨大化する都市環境
人口増
経済成長
新卒一括採用・年功序列



今・これからの社会

新たな価値の創造
Society 5.0
イノベーション
一人ひとりの多様な幸せwell-being
多様性 AI
人材の流動化



これまでの教育

同質性・均質性
一律一様の教育・人材育成

一斉授業 形式的平等主義

みんな一緒に
みんな同じペースで
みんな同じことを



今・これからの教育

多様性を重視した教育・人材育成

個別最適な
学び

協働的な
学び

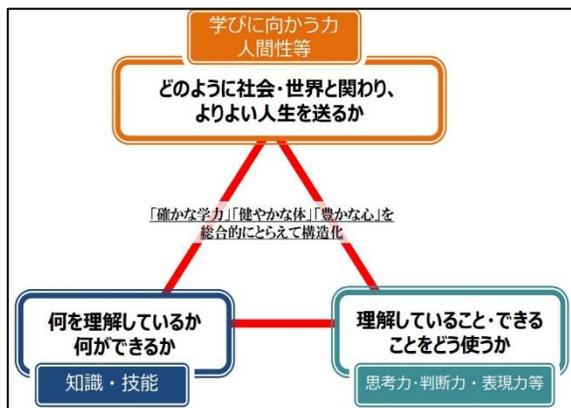
それぞれのペース
で自分の学びを

対話を通じた
「納得解」の形成



▼学校は、これからの社会で必要な力を伸ばしていきます！

< 資質・能力の3つの柱 >



< 学習の基盤となる資質・能力 >

- ・言語能力
- ・情報活用能力（情報モラルを含む）
- ・問題発見・解決能力 等

< 現代的な諸課題に対応して求められる
資質・能力 >

- ・健康・安全・食に関する力
- ・主権者として求められる力
- ・新たな価値を生み出す豊かな創造性 等

子どもたちに身に付けさせるべき力を、
家庭と学校が共有し、育てていきましょう。

STEP 2

チェック！ 家庭で学力を育てる10の質問！

次の質問をチェックして、普段のご家庭の様子を振り返ってみましょう。

お子さんは毎日同じくらいの時刻に寝たり起きたりしていますか。

お子さんは毎日朝ごはんを食べていますか。

タブレットやゲームなどのルールを家庭で決めていますか。

お子さんががんばっていることを、ほめたり励ましたりしていますか。

お子さんの将来の夢や目標を知っていますか。また、応援していますか。

お子さんとよく話をする方ですか。

家庭の中で、お子さんの役割がありますか。それは何ですか（お手伝いなど）

お子さんが困っているとき、声をかけるなど、相談にのっていますか。

お子さんは家庭で毎日、計画を立てて学習していますか。

読み聞かせをしたり、読んだ本の感想を話し合ったりしていますか。

**「家庭で学力を育てるポイント」につながる質問です。
たくさんチェックがつくことが望ましいですね！**

STEP 3

調査結果をもとに、できることから実践！

▼特に大切な9つのポイントを紹介します

「全国学力・学習状況調査」（小6・中3）『質問調査』における富良野市立小・中学校の子どもたちの結果を踏まえ、「家庭で学力を高めるポイント」を、特に大切な9つのポイントにまとめて紹介します。

グラフから分かるポイントを参考にして、ご家庭の状況に合わせて、できることから始めてみましょう。

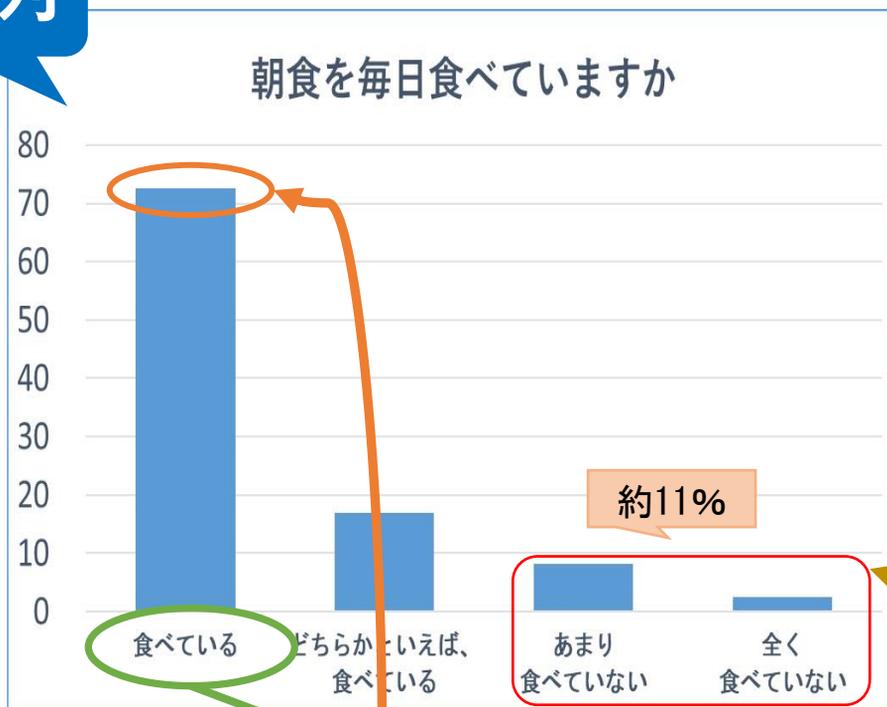
グラフの見方

- 次ページから紹介するグラフでは、今がんばっていることや今後がんばる必要があることの傾向を見ることができます。

質問内容は、全国学力・学習状況調査『質問紙調査』の質問項目です。

参考例

Q 朝食を食べていますか



この質問に「食べている」と答えた子どもの割合が72%程度であったことを表しています。また、否定的な回答をした子どもの割合が、約11%程度であったことを表しています。

学力調査の結果からわかる！

1 早寝・早起きで生活のリズムを作りましょう



Q 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

Q 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

手をかけ、声をかけ、目をかけることで定着します



生活リズムを完成させるのは「大人の役目」

早寝・早起きを基本に生活リズムを整えると、身体の調子が良くなり、学習への意欲もアップします。子どもが毎日、よい状況で学習に臨めることを大切にしましょう。

2 朝ごはんを毎日食べさせましょう



Q 朝食を毎日食べていますか

朝食をきちんと食べて、体と頭を目覚めさせることが大切です



朝ごはんは子どものエネルギーの源

朝食は、脳の活性化、健康な身体づくりにつながります。集中力アップ！やる気もアップ！忙しいご家庭も、簡単なものでよいので朝食を食べる習慣を！

3 ICT端末等を使う時はルールを作りましょう

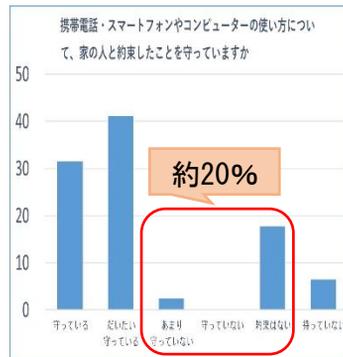


Q 1日当たりどれくらいの時間、ゲームをしますか

Q 1日当たりどれくらいの時間、SNSや動画視聴などをしますか

Q スマートフォン等の使い方について、家での約束を守っていますか

大人と一緒にルールをつくり、徹底することが大切です



タブレットやゲームなどICT端末を家庭で使うときの活用時間について、子どもと話し合ってルールを決めましょう。時間・使い方・大人の目.....ルールを決めたら、家族で守ることを徹底しましょう！

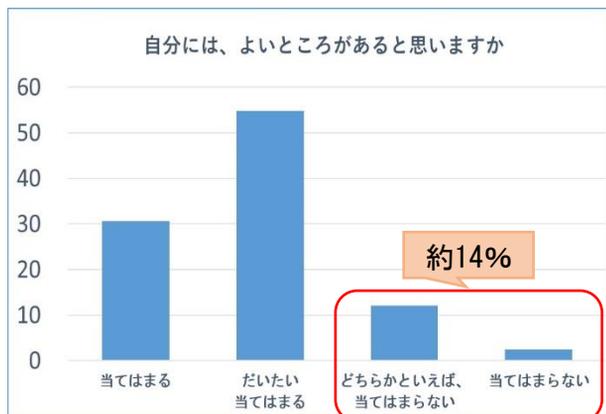
子どもの周りには「誘惑」がいっぱい

家庭で学力を育てる9つのポイント

4 家庭でのふれあいを大切にしましょう



Q 自分には、よいところがあると思いますか



心の栄養をたっぷり与えることが大切です

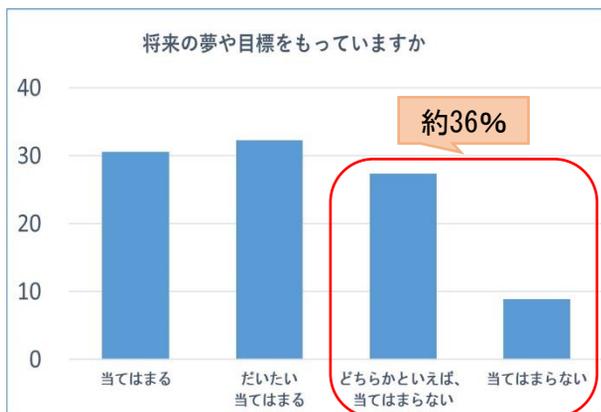
「ほめ言葉」は心の栄養

子どもはいつも「自分のことをわかってほしい」と思っています。忙しくてもできるだけ時間をとり、とにかく子どもに話しかけましょう。直接話しかけることができないときも、子どもの姿をきちんと見て気持ちをつなぎましょう。

5 夢や目標を応援しましょう



Q 将来の夢や目標を持っていますか



子どもの純粋な思いを応援することが大切です

「やる気」は学力の原動力

興味のあることをきっかけに、難しいことにも挑戦した経験やあきらめずにやり遂げた経験で子どもは自信をつけていきます。そして、この自信が次のがんばる力につながります。子どもの興味が大切に！豊富な体験が、子どもの成長につながります！

6 家庭の一員としての役割をもたせましょう



Q 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



子どもの自立心を育てることが大切です

「家庭の一員」は「社会の一員」へのステップ

「自分が家庭の役に立った」という経験から子どもの自主性・責任感が芽生えます。部屋の整理整頓、食器の片付けなどできることからどんどんさせましょう。「とても助かったよ」「ありがとう」と伝えることも忘れずに！

ぜひ、子育ての参考にしてください！

7 保護者から、子どもに声をかけてあげましょう

Q いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



大人から声をかけ、よく話を聞くことが大切です



子どもの思いを受け止める言葉がけを

子どもにとって、自分の思いを言葉にしてみると、自分の心の中が整理されて、心が軽くなることがあります。子どもは、保護者からの「声かけ」を待っています。

また、家庭でもいじめについて、一緒に考えましょう。



8 家庭で学習する時間と内容を決めましょう

Q 1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



学習習慣を定着させるには、大人の見守りが必要です

「毎日」「くり返し」で集中力を

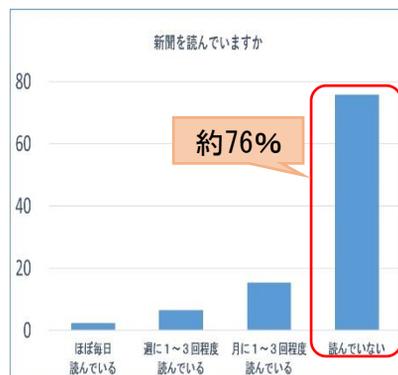
子どもが自ら学習に向かうことはとても大切です。そして、それを毎日続けることで集中力が身につきます。でも、習慣の定着はそう簡単にはいかないものです。根気強い大人の声かけを！

9 家庭で文字に触れる機会をつくりましょう

Q 家には、およそどれくらいの本がありますか



Q 新聞を読んでいますか



大人と一緒に読書習慣を作ることが大切です

読書の効果は無量大

読書で、集中力アップ、読解力・想像力アップ、語彙力アップ、表現力アップ！身近な場所に本を置くなど、子どもが文字に触れる機会をつくりましょう。

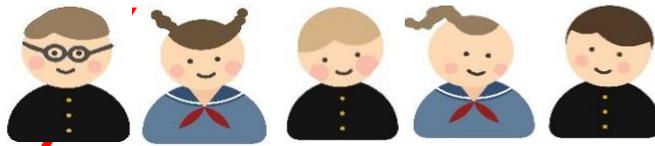
学校・家庭・地域の連携が大切です

学校



- 望ましい友人関係の構築
- 「楽しい」「分かる」授業の実施
- 個に応じた指導・支援の充実 等

子どもの育ちには、家庭と地域の力が不可欠です！



家庭



- 基本的な生活習慣の確立
（「早寝・早起き・朝ご飯」）
- ゲーム・インターネット等の
ルールづくり
- 家庭における役割分担
- 親子のコミュニケーション 等

地域



- 地域全体での子どもの見守り
- 子どもと地域との関わり
- 豊富な体験活動 等

